

地神 亮佑

高等司法研究科・准教授

【研究】

主としてアメリカ労災補償法における排他的救済の理論的検討を行った。9月にアメリカ国内において現地調査を行い、その調査結果等については現在取りまとめ中であり、次年度前半に『阪大法学』に掲載予定である。その他、日本産業保健法学会大会において精神障害からの職場復帰についての報告を行った。上記と並行し、2025年社会保障法学会大会の企画に向け、報告者グループの中心として取りまとめを行っている。

【教育】

昨年度と同様の授業担当をするほか、高等司法研究科「エクスターンシップ1・2」の担当を引き継ぎ、担当弁護士との折衝、説明会・報告会の実施を担当した。

【管理運営】

高等司法研究科教務委員として、上記2のエクスターンシップ関連業務を中心に担当した。

【社会貢献】

日本社会保障法学会において企画委員を務め、実際の企画立案(2025年大会企画)を行った。その他、大阪労働協会「大阪労働大学」において講師を務めた。